

外野が抱く「華やか」の印象と、現実は異なるらしい。ネックレスは不可。指輪は幅4ミリ以下のものを1つまで。耳の宝飾は白の真珠のみで、直径5ミリ以下と決まっている。日本航空の客室乗務員に課せられた美容基準だという。以下と決まっている。

た規則である。▼元日航客室乗務員の江上いづみさんが書いた『幸せマナーとおもてなしの基本』（海竜社）に教わった。自分を映すのは、鏡ではなく乗客の目。アクセサリーよりも「一円もかからぬおしゃれ」といわれる笑顔を。そうたたき込まれるのだから。▼誰よりも近くで乗客に接し、その求めるものを受け再建に努めるさなか、あるを熟知する立場である。日々の客室乗務員の指輪が乗客の不興を買った。破綻した会社の一員として「反省はないのか」と。指には幅の広いブランドものが光っていた。「4ミリ以下」は、そのときの教訓を基に加えられ

た規則である。▼元日航客室乗務員の江上いづみさんが書いた『幸せマナーとおもてなしの基本』（海竜社）に教わった。自分を映すのは、鏡ではなく乗客の目。アクセサリーよりも「一円もかからぬおしゃれ」といわれる笑顔を。そうたたき込まれるのだから。▼誰よりも近くで乗客に接し、その求めるものを受け再建に努めるさなか、あるを熟知する立場である。日々の客室乗務員の指輪が乗客の不興を買った。破綻した会社の一員として「反省はないのか」と。指には幅の広いブランドものが光っていた。「4ミリ以下」は、そのときの教訓を基に加えられ

た規則である。▼元日航客室乗務員の江上いづみさんが書いた『幸せマナーとおもてなしの基本』（海竜社）に教わった。自分を映すのは、鏡ではなく乗客の目。アクセサリーよりも「一円もかからぬおしゃれ」といわれる笑顔を。そうたたき込まれるのだから。▼誰よりも近くで乗客に接し、その求めるものを受け再建に努めるさなか、あるを熟知する立場である。日々の客室乗務員の指輪が乗客の不興を買った。破綻した会社の一員として「反省はないのか」と。指には幅の広いブランドものが光っていた。「4ミリ以下」は、そのときの教訓を基に加えられ